



# 滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会

〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室

TEL/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

## 「国民スポーツ大会 SAGA 2024」を振り返って

一般財団法人滋賀陸上競技協会  
強化委員長 村上 拓

秋冷の候、皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと、心よりお喜び申し上げます。

平素は、本県陸上競技の競技力向上に、絶大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第78回国民スポーツ大会「SAGA 2024」が10月11日～15日まで佐賀県SAGA サンライズパークにおいて開催され、本県の精鋭29名が今大会に挑み、天皇杯17位、皇后杯14位という成績となりました。

今年は、来年の滋賀国スポへ向けてのチーム作りを想定しながら、成年選手へのふるさと登録の完了と滋賀国スポで活躍が期待される少年選手強化を柱に取り組みできました。ケガ等により換算していた得点につながらなかった場面もありましたが、強化スタッフや選手をはじめ、チーム全体が自覚と覚悟を持って踏ん張ることができた総合的な結果だと考えています。

3年連続同種目での開催となりましたが、成年選手を中心としながらも少年選手の活躍により、おおかた目標通りの成績をおさめることができました。個々の成績では、成年女子ハンマー投げ小館充華選手の優勝をはじめ、成年女子800m西田有里選手の2位、成年男子走幅跳藤原孝輝選手の3位など上位入賞を果たしました。また、県新記録2種目・PB6種目・SB2種目含む12種目の入賞となり、2年生が中心となった少年選手が力を出し切ってくれました。成年女子400mHの山本亜美選手のレース途中アクシデントによる棄権や、成少年共通女子4×100mRの県新記録を樹立しながらも決勝進出を逃すなど悔しい結果もありましたが、次年度への向けての課題として取り組んでいきたいと思えます。

いよいよ来年滋賀国スポを迎えることとなりました。8年前から普及委員会との連携により、ターゲットエイジである小学生への指導や中高連携の統一冬季強化事業（選抜・育成）にも力を入れ、11月には第8回滋賀リクを開催します。10年前から形を変えながら継続してきた強化事業を小体連・中体連・高体連・各大学・一般選手が丸となり、滋賀県が一体となってまとめていきたいと考えています。そして、今大会の結果を総合的に振り返り、さらなる飛躍を求めるとともに、次年度への結果に向け、本協会が大きく躍進できるよう、取り組んでいく所存です。

さいごに、協会をはじめ、支えてくださった多くの皆様へ、ご理解・ご協力をいただき深く感謝しております。来年度は滋賀県チームが飛躍し、大きな力が発揮できますよう、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ◎落合選手 日本新記録おめでとうございます！

去る7月28日～8月1日に福岡県博多の森陸上競技場で行われた全国高等学校陸上競技対校選手権大会において、落合晃選手（滋賀学園高校・3年）が800mで見事な日本新記録を樹立されました。

【落合選手より】

昨年から、2024年のパリオリンピック出場を目標に本気で取り組み日々の練習・生活に取り組んできました。可能性は非常に低いものではあったと思いますが、その取り組みの中で様々な経験をさせていただけたことも、自分を成長させてくれた大きなことであったと思います。



結果として日本選手権でパリオリンピックの標準記録を突破することはできませんでしたが、1分44秒台の記録はいつでも出せる感覚はありました。そして8月の福岡インターハイで、1分44秒80の日本記録を出すことができ、今までやってきたことが間違っていなかったことを確信することができました。今後は来年東京で開催される世界陸上を目標に、本気で新たな挑戦をしたいと思います。



## ◎渡辺選手 第2位おめでとうございます！

9月28日～29日、香川県高松市で行われた2024 ジャパンパラ陸上競技大会に、渡辺空馬選手（甲南高等養護学校・2年）がT20 200mに出場し2位という素晴らしい結果でした。出場選手で唯一の高校生でしたが、



予選はトップのタイムで通過、決勝では粘りのレースができ22.87 (-0.3)の好タイムで駆け抜けました。大きな大会や高体連の大会でも臆することなく力を発揮できるところが強みであり、「走ったら勝ちたい。来シーズンは世界ジュニア、アジアユースなどの国際大会に出場し活躍したい。」という渡辺選手は、2025年度滋賀開催の全国障害者スポーツ、パラ陸上、高体連でさらなる飛躍を目指し、その先には4年後のロサンゼルスパラリンピックを見据えています。

【渡辺選手より】

初めての全国大会でワクワクしてスタートラインに立てました。200mは前半の加速が苦手でしたが、ジャパンパラでは練習の成果で前半からスピードに乗れました。決勝では競り合いの中で粘り2位に入りましたが、まだまだいけるという感覚がありました。

来年は金メダルを獲りたいです。

◎国スポお疲れ様でした！



・山中日菜美選手<女子4×100mR 4走 滋賀県新記録 キャプテン>

本大会では、全員が最大限の力を発揮できるような環境作りを目指してチームをまとめてきました。年齢に関係なくコミュニケーションを取り合い、活気あるチームとなり、滋賀の良さが感じられる大会になったと思います。

来年の滋賀国スポを控えた本大会では、選手一人ひとりがさまざまな思いを抱え、全員が「来年は滋賀県の地で精一杯戦いたい」「チームに貢献したい」と今まで以上に強く気持ちが湧いてきたと思います。今回の経験を経て、これからさらに成長した選手たちの姿を、ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。



・西田有里選手<成年女子800m 2位>

今回、佐賀国スポでは2位入賞という結果でした。目標は優勝だったので悔しい思いの方が大きいですが、ラストの直線でスパートをかけ、3位から2位に順位をあげられたことで1点でも多く滋賀県チームに貢献できたことは良かったと感じています。来年は滋賀で国スポが開催されるので、来年こそは優勝して自分の走りで滋賀を盛り上げたいと思います！





・壹岐元太選手<成年男子 300m 5位>

初めての国スポでしたが、滋賀チームがすごく温かく陽気に迎え入れてくれたおかげで、自分のパフォーマンスを存分に発揮でき自己ベストで入賞することができました。

・奥野由萌選手<成年女子 100m 7位 女子4×100mR 3走 滋賀県新記録>

今年は100mと4×100mRに出場させて頂いて、100mは昨年よりも良い順位でゴールしようと挑みました。結果としては7位で悔しい気持ちはありますが、全力で挑めたレースだったと思います。

4×100mRは決勝進出を目標にしていたのですが、全体9番で決勝に進む事が出来ず悔しかったです。タイムとしては滋賀県新記録を出せ、チームの中で最大限の力を出せたと思います。

全体を通して悔しい気持ちも残る試合でしたが、沢山サポート、応援して頂き頑張れたと思います。ありがとうございました。



【編集後記】

来年の滋賀国スポに向けて、各大会で滋賀県の選手が大いに活躍しています。選手が最高のパフォーマンスを発揮できる舞台となるよう、協会をあげて全力で取り組んで参ります。みなさま方のご協力をお願いいたします。